

… 雨でも休まず；第96、97、98回 …

「若柳嵐山の森・小原本陣の森」から

- ・活動1：若柳嵐山の森：3月1日(第1土曜日)、参加費300円。
弁当持参。作業は、早めに切り上げてFSC準備班を相談する。
- ・活動2：小原本陣の森：3月9日(第2日曜日) 参加費300円。
弁当持参、9時15分駅前集合。車分乗で行く。新しい試みに挑戦
- ・活動3：若柳嵐山の森：3月16日(第3日曜日) 参加費500円。
弁当は飯だけ持ってくる事、4月予定の植樹祭準備などを行う。
- ・活動3のみ、必ず申込必要：TEL&FAX 03-3411-1636(石村)
- ・集合：相模湖駅前9時15分。8時42分、9時02分のJR高尾発に乗るべし。
- ・服装；汚れても良い格好・着替え 足元が滑らない履物
- ・持参品；軍手、自分の食器、万一の怪我に備えて…保険証写し
そして、作業を楽しむ“ゆとり”と怪我をしない「心構え」

「国際FSC認証の森」予備審査準備班

「国際認証の森」が見える距離になって来た。が我々は、納得の行く状況を見定めてからにする。審査のための準備班を三班に分けて立ち上げる。参加求む。

班	課題	テーマ	活動内容
準備班Ⅰ	地域社会への社会的な責務	法令順守	法律とFSC思想の順守 保有・使用权および責務
		地域社会との融和	地域への感謝・融合など
準備班Ⅱ	多面的な機能を果たす森づくり	森林のもたらす経済 環境への配慮	森林の便益確保 環境への影響調査 保護価値の高い森林保護 地域社会への経済的貢献
準備班Ⅲ	計画的意識的な管理体制の整備	管理計画	管理計画策定
		モニタリング・評価	Plan・Do・Check 効果測定、環境評価

◎ 雪がところどころに残る若柳嵐山の森では、梅のつぼみも大きくなり、春の気配。山の作業は、園田指導員がお休のため、大日向さんが中心になり「協力協約の森」の仕上げの段階、枝うち、林床整理に入る。

■ 炭窯は、この道60年というベテランの小川さんを先生にお迎えして出直しスタートとなった。「窯を一回り小さくしよう」というご指示でリメイクが始まった。

◇ 土木作業事業部・お花畑班は、砂防ダム建設のため一時中断となった小原本陣の森活動の見直しのため大久保沢を溯上して“孫山の頭”から小原尾根を下り本陣ルートを探索した由。昼過ぎに戻ってきたが「命の洗濯」という表情になっておりました。

◆ 探索班報告：「孫山の頭～小原尾根～小原本陣」：丸茂・清水・兼松さんなど土木事業部にヤジ馬根性丸だしの石村など7人が小原神社裏から雑木林・針葉樹林をシャニムニ、小原尾根を目指した。先月、方向を間違えた西南嶺の分岐に出て、あの美しい永井 宏さんの森を皆んなに見せたく、急坂下降を強要し目的を達して昼過ぎには、若柳・嵐山の森に帰着した（石村記）

● 報告2：第二日曜日（2月9日）小原本陣の森（小原町内会の人々と…）

甲州街道沿いの相模湖／小原町の中心に参勤交替の大名宿陣「小原本陣」があり、県の重要文化財に指定されている。こんなにキチンと歴史を残した本陣は、東海道に二つ、甲州道にここだけと言う事である。小原町内会の人々がこの貴重な史跡を後世に残すため、ボランティアで守っておられる。善意と無償のボランティアで「歴史を守る事・森を守る事」が同一の地域で始まった事が「小原町内会＋森づくりの会」となり「ご一緒しましょう」と言う事になった。先ず、小原本陣を沢山のハイカーに見て貰いたいと小仏峠と小原尾根の整備からと道標を付ける事、登山道を整備する事が始まった。そして、捨てている間伐材でベンチを作るなどしよう、と小原本陣前の榎本製材所跡地も使わせて頂く事となった。こんな事をしていると観光協会が有償で道しるべの注文を出してくれた。金額的には小さいものだが、捨てている間伐材を活す事ができ、山主さんや榎本製材所さんに幾らかでも払えると言う事であれば、素晴らしいじゃ無いか。そんな事を言っていると更に、町役場が、道しるべを付ける場所として“甲州古道”を一緒に考えたいと言って来た。もち、皆んな、皆んなご一緒が良い、異存無い。この一連の事は、地元・元校長・郷土史家：中里利夫さんが纏めて下さった。ご一緒しましょうの第一日目の「小原尾根整備」には、参加15人。この辺の森の隅から隅まで知っている永井和美さん、森仕事はお任せあれの西川町内会長さん、当会の役員にして町の重鎮：尾形さんが案内して下さいました。“小原本陣の森”には、“若柳嵐山の森”とはガラリと異なった森の宝物がギッシリと詰まっている。“小原本陣の森”は、入沢（炊爨）を挟んで小原尾根と美女谷尾根の囲む地。小原本陣から相模川溪谷に下るが、溪谷には弁天島、弁天キャンプ場、その先に“若柳嵐山の森”経由して、相模湖ダム～県立／湖畔公園～相模湖駅。俺たちの活動は何んとも、豪華な事か。鈴木孝夫仲間がHPでも報告している。



2月14日、甲州街道に道標を付けるため町職員と調査をした。

◎ 激しい雨の中…活動報告3、第三日曜日/16日：若柳嵐山の森

極寒の冬の曇りのこの日、森仲間たち
51人。

齊藤憲弘さんをリーダーに「緑のダム学級 in 北相模」を開校した。

しかも加藤恭弘仲間は、昼休みに雨の降る森の中で「表千家・立流」による茶会を亭主したのは、驚く。

齊藤仲間が「緑のダム学級 in 北相模」の開校を宣言した。県/企画部との協働事業に森仲間たちが授業カリキュラムをテントの下で打ち合わせた。

森林整備作業班は、協力協約の森の最後の仕上げに取組み、来月で終了して検査を受ける。



県/企画部と「水源の森：上下流交流事業」を協働する

- ・環境問題に取り組むという早稲田大など学生5人の参加は心強い。
- ・支援をして下さっている損保ジャパン環境財団から団員：浜井佑子さんが視察に来た。
- ・遠く～、習志野市から青木雅之さんも参加した。
- ・この曇りの雨の日、森林ボランティアはまさか来ていないと思った“語り部：榎本昭一さん”も驚いた。
- ・強い雨の中、森田政江さんが午後から参加した。

・活動が急速に多様化している。

1、相模湖観光協会から「甲州古道調査と道標設置」の委託事業を受けた。

- ・2月14日、相模湖町産業建築部職員の案内で仲間6人計8人で藤野町境から小仏峠入り口までの約10kmを3時間掛けて調査した。19日再度、逆コースを取って道標設置場所を2500分地図に落とす作業を実施した。道標は、小原町の榎本製材所のご好意で、その敷地内で小原町の人々と一緒に作る。文字は、町在住の郷土史家：中里利夫先生が引き受けて下さった。

いっそ「大月笹子峠～ 相模湖小仏峠を繋げ」と剛毅な事を言い出した加藤^{あき}夫(あきお)仲間に指揮を取ってもらう。もち、皆んなで力を合わせる。詳細を加藤仲間がHPにしている。覗かれよ。

2、相模湖商工会から「流域通貨勉強会」の委託事業を受けた。世田谷の「地域通貨クラブ」の協力を得て3月中に実施予定。

3、県/企画部と「上下流域交流事業」を協働事業を実施するために2月24日、当会、相模湖町、津久井行政センター、県企画部と第一回打ち合わせ会を開催した。

4、来る3月1日～2日、相模原市での「消費者生活展」に参加する。当会の間伐材製品を展示する。橋本駅前サティ6F。

5、来る3月4日、午後5時～、損保ジャパン環境財団/交流会に参加・出品。参加者は事務局に連絡の事、参加費無料。会場は、同社本社ビル39F (西新館1-26-1/新駅駅徒歩8分)

6、水源の森から発信する「相模川流域通貨：R i v e r /リバー」その後の経過。

「エコ（環境）とエコ（経済）は、矛盾しない筈、融合できる」と主張して森林に取り組んでいる。欧州から地域通貨の概念をわが国に持ち込んだNHKの河邑厚徳さんが、事務所を訪ねてこられて一緒にやろうと言う事になった。これを相模湖町に話したら受け入れてくれて「流域通貨：リバー」を立ち上げて「忍野百海から相模湾まで流域各地を夫々に繋げば良い」と言う事になったから、我々の得意分野である森：フォレストからも発信する。準備を吉田恒久仲間、伊藤小夜子仲間が引受けてくれて準備している。活動が無償と善意でを結ぶ我々の活動が「桂川・相模川流域／善意経済圏」。面白いじゃないか。

募 集

「若柳・嵐山の森；森林隣接農地／活用」班員

西君が定点養蜂をやると言い出して、花が沢山欲しいと言う事から山主の鈴木重彦氏が千坪程もある農地を「どうぞ、ご自由に…」と整地までしてタダで貸して下さった。

まずは、菜種を蒔いたが、千坪と言うのは如何にも広い。こうぞ・みつまたを栽培して“紙梳き教室をやろうとか、有機農法に取り組もうとか、広葉樹苗木が良い”などアイデア続出。「その仕事引き受けた」と名乗り上げてくれたのは、須藤章仲間だが、何せ、広い。10人位の農地班を編成したい。お屋のおかずも自給自足で出来る。班員には、少しはお持ち帰りも可。

・お問い合わせ…0426-84-3090（須藤）

「緑のダム学級 in 北相模」指導先生

本年より神奈川県／企画部と「水源の森：上下交流協働事業」に取り組む事になった。目的は、下流／都市部の人々に水源の森の実態を知って貰うと言う事で“若柳・嵐山の森”がそれを引受ける。斉藤憲弘さんが乗り出してきて「動物植物学級水の滴る水源探訪、炭焼き教室など」の10のカリキュラムを作ってくれた、四月から開校する。我々の仲間には、その道の練達者がゴロゴロしているが我と思わん人は名乗りあげて欲しい。僅かだが薄謝も出す…予定。*国際環境大学なるものも夢見ている。夢は…

… 本気で想えば、楽しく簡単に実現できる。

・お問い合わせ…03-3996-6609（斉藤）

★ 報告、2月11日／運営会議：2月21日開催（第三金曜日）

- 1、若柳嵐山の森の事：植樹祭りの打ち合わせ、養蜂の事、15年度協力協約の事、畑班の事、県との協働事業の事。
- 2、小原本陣の森の事：森の状況説明、小原町との協働状況説明、甲州古道の事。
- 3、その他：桂川・相模川流域協議会との協働、会計体制の強化を進める。

1) 2月1日(第一曜日)：若柳嵐山の森
参加費300円、弁当持参。
早めに切り上げて活動内容を相談する。

2) 2月9日(第二曜日)：小原本陣の森
9時15分駅前集合、参加費300円

3) 2月16日(第三曜日)、若柳嵐山の森
参加費500円、植樹祭準備。
詳細別紙参加申込書、臨時活動なし。

4) 2月23日(第四曜日)：JR笹子駅前／10時

・モットー 急がず、休まず、楽しく、無理せず
ポチポチと…、そして…沢山のご意見下さい。

・名 称 NPO：緑のダム北相模／森林部会
事務局 154-0023

東京都 世田谷区 若林3-35-9

TEL&FAX 03-3411-1636(自宅)

TEL 03-3411-0602(事務所)

・お電話係 石村黄仁（自然科学研究所 事務局）

HPアドレス変更；<http://www008.upp.so-net.ne.jp/kitasagami/>

・ご支援自然保護団体：国土緑化推進機構金、7-11みどりの基金、損保ジャパン環境財団